

銀試験紙 (MN90732)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過により変化する場合があります。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、直ちに容器の蓋を閉めます。
2. pH2~6 に調整した弱無機酸サンプル溶液を試験紙に1滴、真円になるよう慎重に滴下します。
3. 銀イオン (Ag^+) の存在で橙色試験紙に赤紫色のスポットが、少量の場合は赤紫色のリングが現れます。極少量で変色が分かりにくい場合は、溶液を滴下した試験紙をアセトンに一瞬だけ浸します。浸すと試験紙全体は黄色に変色し、銀イオンと反応した箇所だけ赤茶色に変色します。
※検出限界：20mg/L の Ag^+

《妨害》

- 2 価水銀イオン (Hg^{2+}) による妨害
2 価水銀イオンも同様に赤紫色に変色します。以下 a) または b) の手順で除去もしくは減衰させることができます。
 - a) 2 価水銀イオンの変色が消えるまでアセトンに浸します。銀イオンの変色はそのまま残ります。
 - b) 0.1M の塩酸溶液に塩化アンモニウムを加えた溶液を測定後の試験紙に軽く塗布します。結果 HgCl_2 が形成され 2 価水銀イオンの変色が消えるもしくは減衰します。その後試験紙を蒸留水で洗い流すと銀イオンの変色が残ります。
- 銅による妨害
銅も同様に赤紫色に変色しますが、アセトンでは除去できません。除去するためには上記 b) の手順で処理します。処理済み試験紙を光にかざすと銅によるスポットの中に銀イオンによるリングが見えるようになります。
- 金、白金、パラジウムによる妨害
金、白金、パラジウムも同様に赤紫色に変色します。これは溶液にシアン化カリウムを加えて除去します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。